

「食べたい」思いに寄り添う看護

誤嚥性肺炎治療のために絶食管理中だった患者さんがいました。

「早く食べさせろ!」と、絶食に対するストレスで声を荒げることもありましたが、嚥下機能が比較的保たれていたため、安全な姿勢で飲み込みやすい形態のものから飲食を開始することになりました。絶食から解放され最初は満足感が得られていましたが、食べたいものを好きなように食べられないことへのストレスか、こっそりとお菓子を食べたり、普段通りの食べ方を貫こうとされていました。それでも根気強く説明することで少しずつ変化が見られ、ようやく退院となりました。

ところが、わずか3日後に誤嚥性肺炎で再入院されました。短期間での再燃で体力低下が著しく「こがきつかとは思わなかった。ちゃんと言う事聞いとけばよかった。」と悔いていました。

「食べる行為」は生まれてからの習慣そのものと思



います。退院して気の緩みもあったのかもしれませんが。その後、食べ方について患者さんと再確認し、無事に退院されました。

先日外来で「教えてくれたことちゃんと守りよるよ。もうお世話にならんようにせんばね。」と元気そうに話しかけて頂きとても嬉しく思いました。

食べることは生きる事と言われるように、人間にとって不可欠です。何気なく行っていた食べる行為がリスクとなってしまった時、その現実を受け止めることは難しいかもしれません。そんな思いに寄り添いながら、「安全に口から食べる」ための支援を行っていきたいと思います。

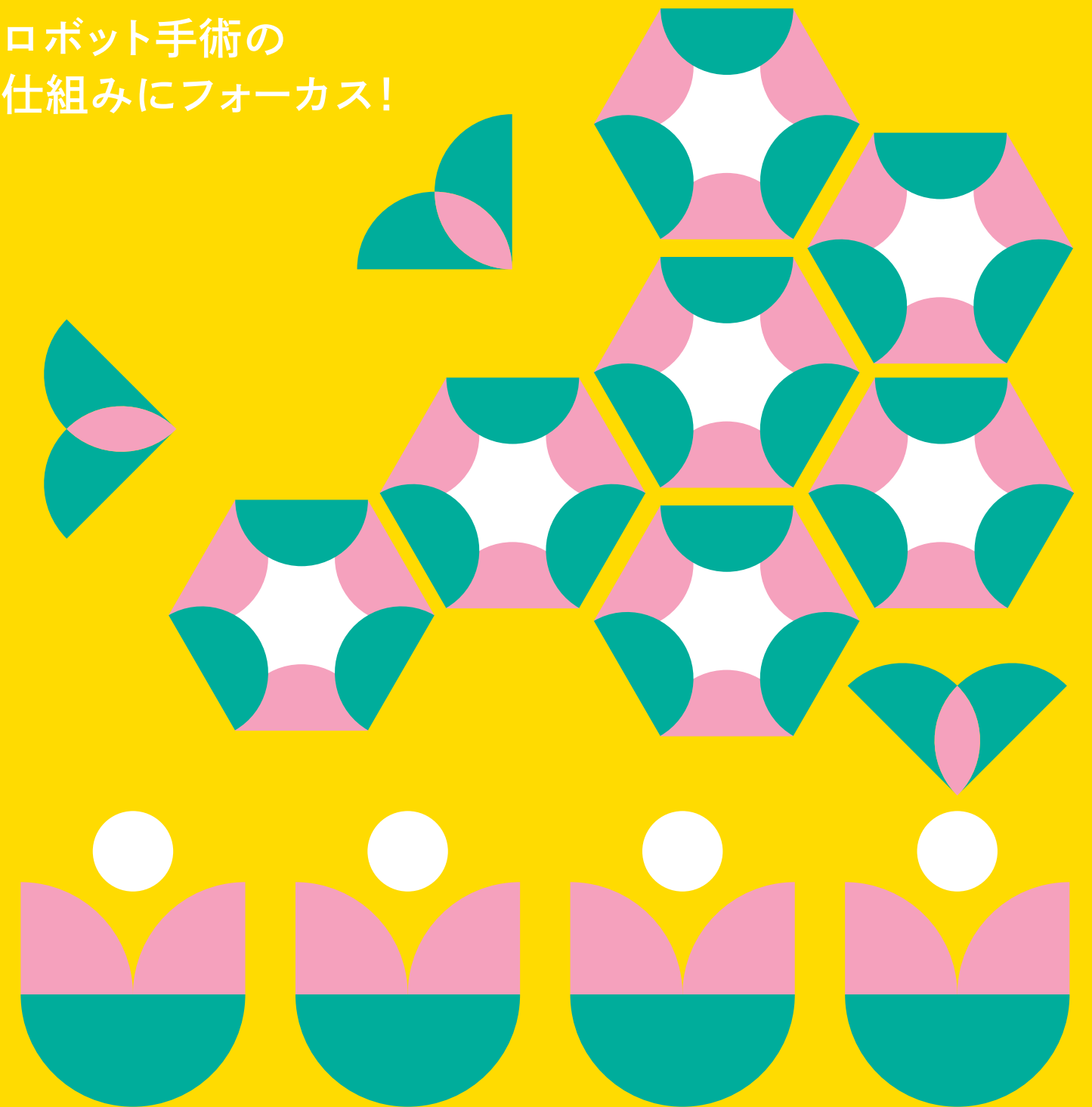
[摂食嚥下障害認定看護師 山口 美菜子]

12
2024/03



TOPICS

ロボット手術の
仕組みにフォーカス!



INFORMATION

受診のご案内

[診療時間] 8:45~17:00

[受付時間] 予約のある方 予約時間にあわせてお越しください。
 予約のない方 月曜~金曜 8:30~11:00

[休診日] 土曜/日曜/祝日/年末年始
 ※救急は随時受け入れています。

・初診で紹介状をお持ちでない方は、選定療養費として別途7,700円(税込)をいただきます。

・再診予約時間の変更は、平日の14時~16時にお電話ください。(お電話口で診療科をお伝えください。)

・正面玄関は8時から開錠します。

・外来診療担当医表はHPに掲載しています。
 右のQRコードからご覧ください。



外来診療担当医表

面会のご案内

[面会時間] 14:00~17:00 (1日1回30分まで)

[人数] 2名様まで

来院時のお願い

院内では引き続きコロナ感染対策にご協力ください。

新型コロナウイルス感染症は感染症法上の5類に移行し、個人の判断でマスク着用などを行うこととなりましたが、医療機関では引き続きマスク着用が推奨されています。

当院では、来院される全ての方に、入館時の体温計測・手指消毒・不織布マスクの着用を引き続きお願いしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

院内でのマスク着用、入館時の体温測定、手指消毒をお願いします。



電話でのお問い合わせ 095-822-3251(代表)



発行・編集
 長崎みなとメディカルセンター 総務課 広報担当

ロボット技術とともに

～これからの胸部外科手術～

当院呼吸器外科では、2023年8月より手術支援ロボット「ダビンチ」を用いた肺癌や縦隔腫瘍にたいする手術を開始しました。

なぜ、胸部外科手術にロボット技術を用いるかについてですが、ロボット技術は非常に細かい動きが得意であり、手先が器用な外科医でも難渋するような細かい鉗子の動きがしやすいからです。ロボットを操作する外科医は、「サージョンコンソール」と呼ばれる拡大モニターとコントローラーのついた操作台に座って手術を行います。患者さんの近くには「ペイシェントカート」というロボットアームが4本ついた本体が設置され、手術の安全管理とロボット操作する医師の助手として外科医2名が付き添い、手術を行います。

ロボット手術は従来の開胸手術に比べ手術創が小さく、出血量が少ない、手術の痛みが

MEDICAL
HOTLINE

診療ホットライン

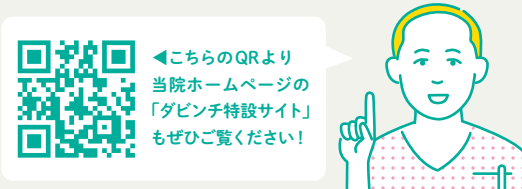
医療の現場につづき！

軽い、合併症の発生率が低い、入院期間が短く自宅への退院が早いといったメリットがあります。

このロボット手術が当院においても安全に行われています。1例ずつ症例を重ねていくことが、今後の手術の安全性につながっていくと考えます。



▲左側：サージョンコンソール / 右側：ペイシェントカート



[呼吸器外科 主任診療部長 森野 茂行]



あなたのまちのお医者さん

2023年に創立50周年を迎えました。これからも「地域のかかりつけ医」として、地域の方に寄り添い歩んでまいります。

社会医療法人 健友会 大浦診療所

上尾 真一 先生

■ 医院の特徴

長崎の皆さんが住みなれた町で安心して住み続けられるように、と1972年5月1日に大浦診療所が誕生しました。予防・健診、生活習慣病、被爆者医療、在宅医療、介護事業とあわせ健康づくり活動などにも地域の方とともに携わっています。また、「お金のあるなしでいのちが差別されてはいけない」という思いから、安心してよい医療を受けていただくために当診療所では、「無料・低額診療制度」を設けています。お悩みのある方、お困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ相談にお越しください。これからも地域の方に寄り添い外来、在宅、介護を支えるかかりつけ医としてともに歩んでまいります。

■ 趣味・好きなこと

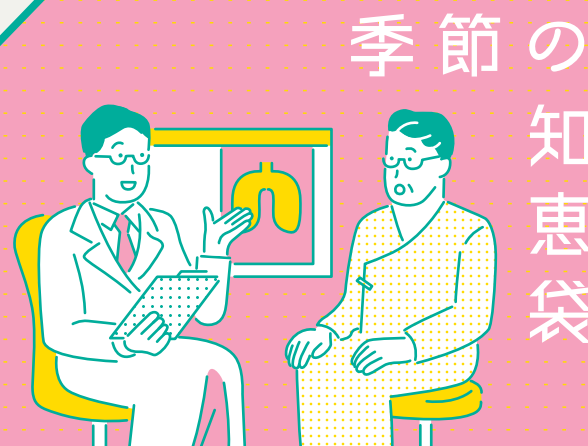
ミュージカル鑑賞：コロナ禍で足が遠のいてしまっていたのですが、昨年やっと劇団四季のミュージカルを観に行くことができ、夢のような時間を過ごすことができました。
好きな歌手：松任谷由実（ユミン）の歌声にいつも癒されています。（診察室内には、ユミンからの年賀状も！）

■ 基本情報

診療科：内科・リウマチ科
リハビリテーション科

[診療時間]	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後	休診						

〒850-0918 長崎市長浦町9-30
TEL:095-821-1367
電車 / バス「石橋」下車、徒歩1分
※お車の方は、指定駐車場が有ります。
(本田ガレージ：最大2時間サービス)



季節の知恵袋

健診・検診を定期的に受けましょう

■ 特定健診

40～74歳が対象で、メタボリック症候群の観点から、糖尿病、高血圧、脂質異常症、脂肪肝などの生活習慣病を早く見つける、あるいは、このままだったら生活習慣病になってしまうリスクがどのくらいか、を調べる健診です。

従って、異常を指摘されたら医療機関を受診する、あるいは生活習慣の改善が必要になります。生活習慣病は、心筋梗塞や脳卒中、腎不全など命に係わる病気の原因となり得ますので、年に1回は自分の健康状態を検査しましょう。

■ がん検診

症状がない人にがんの疑いがあるかどうかを調べる検診です。がんによる死亡率を減らす目的で行われています。国が定めた対象は、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんです。対象年齢や検診を受ける間隔は臓器によって異なります。お近くの市町村にご相談ください。

国民の2～3人に1人はがんになる時代です。がんができた場合でも、早期に発見して体に負担の少ない治療で治癒するよう定期的に受診しましょう。早期発見すれば、がんは治る時代です。

身体の不調や違和感に気づく前に、定期的に健診・検診を受けましょう！



[検診部長 神田 哲郎]

教えて！先生 すこやか広場

[アレルギー性鼻炎]



Q アレルギー性鼻炎には種類がありますか？

A アレルギー性鼻炎というのはアレルギーの原因となる物質が鼻の中に入ってアレルギー性変化（鼻づまり、鼻汁、くしゃみなど）を生じるものです。

アレルギー性鼻炎は大きく分けると「通年性」と「季節性」があります。通年性の原因の多くはハウスダスト（塵、埃）やダニ、ノミなどで、1年中調子が悪く感じられます。

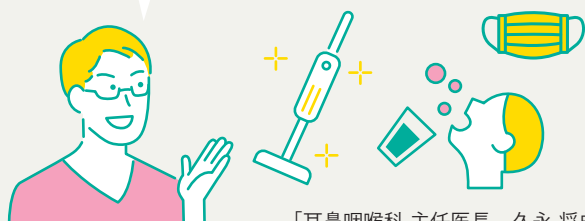
季節性は特定の時期にだけ症状が出るもので、花粉症が有名です。花粉症の原因としてはスギやヒノキが有名ですが、他にも原因となる花粉は何十種類もあって、花粉の種類によっては夏や秋に花粉症になる人もいます。

Q 「花粉症かな？」と思ったら何科を受診すれば良いのでしょうか。

A 鼻汁、鼻づまりなどの症状がある場合は近くの耳鼻咽喉科を受診されることをおすすめしますが、近くになれば、まずはかかりつけの病院で相談されてもいいと思います。

また、花粉症とわかっている場合はドラッグストアなどで薬を購入するのもいいと思います。

マスクとうがいは感染症対策だけでなく花粉症にも効果的です。その他、洗濯物は室内干しにする・こまめに掃除するなど花粉を入れないことを心がけましょう。



[耳鼻咽喉科 主任医長 久永 将史]



最先端！調剤ロボットがやってきた！！



詳しくは病院ホームページをご覧ください▶



薬剤部では患者さんへより安心・安全な薬物療法をご提供するため、調剤ロボットを新たに導入いたしました。自動薬剤ピッキング装置、全自動秤量散薬分包機、全自動錠剤分包機、注射薬自動払出システムの4種類です。

調剤業務の一部を機械化したことにより、病棟や外来でみなさまと直接お話しする時間を確保しやすくなりました。常用薬の効果、アレルギー・副作用の確認など医薬品の適正使用に向けて、より一層力を入れていきます。

[薬剤部主任 荒木 千鶴]